



## ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化による気候変動の影響により、世界的な規模で猛暑や豪雨などによる自然災害が激甚化・頻発化しており、本市においても豊かな自然や基幹産業への影響が懸念されています。

2015年に合意されたパリ協定において、「世界的な平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求する」という目標が掲げられ、更に2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告書において、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要である」とされ、我が国においても「2050年脱炭素社会の実現」を地球温暖化対策推進法の基本理念として位置づけるなど、国内外において地球温暖化対策への取組みが加速化しています。

本市におきましては、2021年3月に環境施策の指針となる「氷見市環境基本計画」を策定し、エネルギーの地産地消を重点施策として位置付け、再生可能エネルギーの利用や省エネルギーの促進と併せて、地域経済の活性化に資する取組みを進めており、2023年3月には、「氷見市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、2050年二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることを目標として掲げ、その実現のための方針や施策等を定め、脱炭素化に向けた取組みを計画的に推進しているところです。

私たち一人ひとりが、今以上に地球環境の変化に強い危機感を持ち、脱炭素社会の実現に向けた取組みを強化し、次世代に氷見市の豊かな環境を引き継いでいく必要があります。

氷見市は、国際社会の一員として国と目標を共有し、そして、豊かな自然環境や美しい景色が暮らしに溶け込んだ魅力あふれる私たちのまちを次世代に引き継いでいくため、「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする“ゼロカーボンシティ”の実現」を目指し、市民、事業者、行政が一体となって全力で取り組むことをここに宣言します。

2023（令和5）年6月16日



氷見市長

林 正之

※氷見市はSDGs未来都市に選定されました。

